

# グラフィガードS

グラファイトの保護コーティング剤「グラフィガード」の耐熱上限は1000°Cですが、「グラフィガードS」は1000°Cを超えた高温域で、グラファイトの酸化と摩耗防止に使用されます。フィラーは高純度のムライトを含んでおり、シリカは入っていません。用法は「グラフィガード」と同じ塗布コーティングです。



## 荷姿

100g、500g、1kg  
いずれもプラスチック容器入り

## 特 性

- 生成した皮膜の耐熱上限は酸化雰囲気中で持続で1400°C、断続では1600°C。
- 皮膜は硬くて、耐摩耗性があり、高遠赤外線放射率です。
- あらゆるグラファイト、カーボンに使用できます。
- 水性ペイント状で塗布は容易です。
- 皮膜は繰返しの使用に耐えます。

## 使用法

1. 塗布する面をサンドペーパーなどで軽くあらしめます。
2. そのときにでた遊離粉などを完全に除去してきれいにします。
3. グラフィガードSを内容が均一になるよう、よく攪拌します。
4. 塗った皮膜が乾燥したらまた塗るといった要領で2、3回重ね塗りしてください。  
加熱前に皮膜を完全に乾燥させてください。
5. 300°C以上で約5分焼成しますと、皮膜は完全に硬くなり、耐水性ができます。

## 技/術/資/料

耐熱上限：1400°C(持続)1600°C(断続)  
使用可能雰囲気：全雰囲気  
焼成後の皮膜の組成：SiC、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、  
Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、SiO<sub>2</sub>、B<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、  
3Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-2SiO<sub>2</sub>(ムライト)

溶媒：水  
比重：1.85  
色：晴緑色  
ガス放出完了温度：600°C  
放出されるガスの内容：H<sub>2</sub>O  
PH：2～3